

シリーズ石見銀山② 石を使いこなす —石見銀山を支えた技術—

石見銀山には、石で造られたものが多く存在します。羅漢寺の五百羅漢やアーチ橋、古い石塔の数々、明治時代に造られた清水谷製錬所の石垣など、石の質も用途も様々です。今回は、石見銀山遺跡にある“石を使う技術”の痕跡をご紹介します。

公開坑道 龍源寺間歩の出口付近にある、妙像寺跡の石垣をご存知でしょうか。妙像寺は、16世紀に建てられた寺といわれています。この石垣には一石だけ、採石の場所（石切場）で石材を割るときにできた痕跡をもつものがあります。

石材を得るときは、材質や用途によって「割る」「切る」など方法が違います。その中でも、石を割るときには、「(鉄)矢」とよばれる楔状の工具を使います。この矢を使って、石の“目”に沿って一列に穴を開け、そこに衝撃を与えて割っていきます。妙像寺跡の石垣にあるものは、このときにできた痕跡と考えられます。石質の詳しい調査はされていませんが、石見銀山にある石垣の多くは、大森町内で採れる凝灰岩を使っているようです。

次に注目するのは、石の加工技術です。橋や清水谷製錬所の石垣に使われている石の中には、綺麗に形が整えられ、こまかい線のようのみな痕跡をもつものがあります。石を削った鑿の痕跡です。鑿で石の面を平滑にする加工には、見た目の美しさアップもさることながら、石を組み合わせた際の強度を上げる役割もあります。石の面を整えると



羅漢町橋



妙像寺跡石垣の矢の痕跡

石同士の接着面が大きくなり、石と石がしっかりと組み合さります。より強く、より美しく。石垣や橋の勾配、アーチの弧を計算して、石を加工しています。

石で造られるものは、用途や立地、使用する石の質によって、石の切り出し方や割り方、加工の方法、石の配置や組み合わせが決まります。つまり、使い道や使用場所に応じて、石を使いこなしているのです。そこには地域性や時代性、職人の技術や知恵が反映されています。

このような“石を使う技術”は、石見銀山での生産や生活、文化を支えたものの一つといえます。技術の痕跡を辿りながら、石見銀山遺跡を散策してみるのはいかがでしょうか。

【問】石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183
ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

波根地区工業団地

進出企業

- ①……新生飼料(株)
飼料製造、食品加工
販売
- ②-1……イマックス(株)
理工業業
- ②-2……島根電機(株)
電気工業業
- ②-3……康徳建設(株)
土木工業業
- ②-4……丸田 計地業
- ③……島根電機(株)
(日本工業電子製造業)
電気機械器具製造業
- ④……(株)桜木精工
機械機械加工業



波根地区
工業団地平面図

島根県内で最も安価な工業団地です！

☆分譲価格（1㎡あたり）7,000円

10,000㎡以上の分譲の場合（1㎡あたり）6,500円

☆割賦分譲も可能です。無利子で最長10年の元本均等払いが可能です！

☆事業用定期借地制度により、1㎡あたり年額175円で賃貸可能です。さらに!! 雇用が1人増えるごとに翌年度から1㎡あたり10円を減額!! 1㎡あたり年額115円まで減額できます！



所在地/大田市波根町
事業主体/大田市
総面積/20ha
分譲可能面積/6.4ha
最低分譲面積/1,000㎡
割賦分譲/可
賃貸借/可
電力供給/6.6KV線引込済
66KV線まで0.2km
用排水/水/上水道400㎡/日
水/自社処理後、波根川へ

平成6年3月から分譲を開始した『波根地区工業団地』では、現在7社が操業をしています。

市では平成23年に、県内で最も安価な分譲価格に改定し、無利子で最長10年分割払いを可能とするとともに、土地貸付制度も新たに創設して企業誘致を積極的に進めています。

また、市の企業立地奨励金（限度額5,000万円）も増加雇用従業員数を3人以上かつ投下固定資本額を2,700万円からと、より利用しやすい支給要件としました。

リスク分散等により他地域への立地をお考えの企業などをご存知でしたら、大田市役所産業企画課（☎0854-82-1600代）へご連絡ください。